

[ファミリエ下野市民運動]

「ファミリエ」(Familie)は、下野市が交流しているドイツの言葉で家族を意味します。この名称は、市民教育運動が家庭を中心とし市民が一体となって展開することをイメージした市独自の名称です。

[運動スローガン]

当たり前のこととを当たり前にやろう!!

大人一人一人が子どもに積極的に関わり、家庭教育力の向上、地域の子どもは地域で育む市民意識の定着、子どもの成長を見守る社会の実現などに取り組むものです。

本年度の基本方針

認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくり

1 「心の教育」の充実

教育目標／心豊かな子

- 「あいさつ運動」の推進(3A運動)
- 「認め合い・励まし合い・助け合う」学級集団の形成(人間関係づくり)
- 生活目標と関連づけた学級指導の充実
- 主体性を育てる縦割り班活動の体系化と児童の活躍の場の拡充
- 地域の「人、もの、こと」を生かしたふれあい学習の充実
- 「心豊かな子」を育むための道徳教育の充実(小中一貫教育の推進)



縦割り班活動による全校遠足



花育「花束作り」



地域の方とのアグリ活動「田植え」



地域の方に学ぶ「ふくべ細工」

2 「確かな学力」の定着

教育目標／進んで学ぶ子

- 「学び合い」のよさを実感できる学習活動の工夫
- 「ねらい」「振り返り」の一体化を図った授業の展開
- 各教科における基礎基本の定着と書く活動の充実
- 一人一人の学習状況に応じた細やかな指導
- ICT機器(タブレット端末等)の有効的な活用(GIGAスクールの推進)
- 各教科の特性に応じた言語活動の充実



学び合いのよさを実感できる学習活動



細やかに対応するTTの授業



ICT機器を活用した授業



「新聞の日」の取組

4 「信頼される学校づくり」の推進

- 指導力向上を目指した研修会の実施
- 互いのよさを認め合い、助け合う教職員集団
- 問題の未然防止(児童と向き合う時間の確保)
- 地域とともにある学校づくり(保護者・家庭・地域社会・関係機関との連携)
- 学校評価の実施と保護者・地域の意見の反映
- 小中一貫教育・学校運営協議会の推進



外部指導者を招聘しての
校内研修会



充実した家庭教育学級



スクールガード
ボランティアさん感謝の会

1. 研究主題 主体的に学び、高め合う児童の育成

～自己肯定感を高め、豊かな表現力の創造をめざして～

2. 研究内容 「わかる楽しさ」「できる喜び」を実感できる授業の工夫

- (1)学習意欲を高め、主体的に学びに向かうことができる授業の工夫
 - 自ら目的意識や課題意識(疑問・問い合わせ)をもつことのできる導入・「めあて」の提示の工夫
 - 「振り返り」活動の確実な実施と内容の充実
- (2)学業指導の工夫
 - 安心して学び合える集団づくり
 - 個のよさを生かす学習形態や学習活動
- (3)達成感や喜びのある授業の工夫
 - 達成感や成就感を得られる教材やICT機器の活用
 - 学年相応の家庭学習の充実

■ 石北小の「当たり前」の推進

石北小標語

- い いつも明るく
し しっかりと
き 気持ちのこもった あいさつで
た たのしい学校 石北小

- 3A運動
- あいさつができる子
(基本的生活習慣)
 - あいての気持ちを考えられる子
(思いやり)
 - あきらめずにがんばる子
(勉強・運動・行事など)

3 「ねばり強く取り組む力」の育成

教育目標／健康でたくましい子

- 楽しく活動量のある体育の授業の展開
- 縦割り班活動や業間・ロング休みを活用した体力づくり
- 早寝・早起き、規則正しい生活リズムの形成
- うがい、手洗い等の衛生習慣の徹底
- 給食・食育指導を生かした望ましい食習慣の形成
- 安全教室・避難訓練の工夫充実



栄養教諭による食育の授業



体力づくり「スポーツタイム」



避難訓練の工夫・充実



全校で取り組む「花壇作り」



PTAや地域の方と協力して
実施する廃品回収



学校運営協議会の推進
「授業参観」